

平成 2 5 年度

甲州市公営企業会計決算審査意見書

甲州市監査委員

甲 州 監 第 1 1 号
平成 2 6 年 8 月 8 日

甲州市長 田 辺 篤 様

甲州市監査委員 林 健

甲州市監査委員 岡 武 男

平成 2 5 年度甲州市公営企業会計決算審査の意見について

地方公営企業法第 3 0 条第 2 項の規定により審査に付された、甲州市水道事業会計、甲州市勝沼ぶどうの丘事業会計及び甲州市勝沼病院事業会計の収支決算及び証拠書類を審査した結果について、次のとおり意見を提出する。

目 次

1	審 査 の 対 象	1
2	審 査 の 期 間	1
3	審 査 の 方 法	1
4	審 査 の 結 果	1

水 道 事 業 会 計

(1)	業務の実績について	2
(2)	予算の執行状況について	3
(3)	経営成績について	5
(4)	財政状況について	6
(5)	審査所見	7

勝沼ぶどうの丘事業会計

(1)	業務の実績について	8
(2)	予算の執行状況について	9
(3)	経営成績について	11
(4)	財政状況について	12
(5)	審査所見	13

勝沼病院事業会計

(1)	業務の実績について	14
(2)	予算の執行状況について	15
(3)	経営成績について	17
(4)	財政状況について	18
(5)	審査所見	19

平成 25 年度甲州市公営企業会計決算審査意見

1 審査の対象

平成 25 年度 甲州市水道事業会計決算

平成 25 年度 甲州市勝沼ぶどうの丘事業会計決算

平成 25 年度 甲州市勝沼病院事業会計決算

2 審査の期間

平成 26 年 6 月 12 日から平成 26 年 8 月 8 日まで

3 審査の方法

審査は、公営企業法に基づいて作成された決算報告書、財務諸表及び事業報告書について、証拠書類、関係諸帳簿等との照合や関係職員から内容を聴取し、行った。

4 審査の結果

審査に付された決算報告書及び財務諸表は、関係法令に準拠して作成されており、各事業とも決算の計数は、関係帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。

審査の概要と意見については、以下の各事業会計のとおりである。

(注) 本書において、表示数値未満は四捨五入した。

水道事業会計

(1) 業務の実績について

業務実績は、以下に示すとおりである。

業務実績比較

区 分	単位	平成 25 年度	平成 24 年度	比較増減
総 人 口	人	33,953	34,469	△ 516
給 水 区 域 内 人 口	人	19,921	20,219	△ 298
給 水 人 口	人	19,901	20,199	△ 298
対 給 水 区 域 内 人 口 普 及 率	%	99.9	99.9	0.0
給 水 戸 数	戸	7,897	7,900	△ 3
総 配 水 量	m ³	2,783,433	2,767,093	16,340
有 収 水 量	m ³	2,163,448	2,199,522	△ 36,074
有 収 率	%	77.7	79.5	△ 1.8
配 水 管 延 長	m	143,774	142,860	914
1 m ³ 当 り 給 水 原 価	円	177.53	168.89	8.64
1 m ³ 当 り 供 給 単 価	円	176.21	175.56	0.65

備考 給水戸数及び給水人口は、各年度末の数である。

上水道区域の給水戸数は 7,897 戸であり、前年度と比較するとわずかに減少している。また、給水人口は 19,901 人で、前年度比 298 人少なく漸減傾向にある。

総配水量は 2,783,433 m³で、前年度比 16,340 m³増えている。有収水量は 2,163,448 m³で、前年度比 36,074 m³の減であり、有収率は 77.7%で前年度比 1.8 ポイント低下している。

供給単価は、1 m³当り 176 円 21 銭で前年度比 65 銭増えており、その要因は、給水収益の減少割合より総有収水量の減少割合が大きかったためである。また、給水原価は、1 m³当り 177 円 53 銭で、前年度比 8 円 64 銭増えており、その要因は、経常費用が増加した一方で、総有収水量が減少したことにある。

(2) 予算の執行状況について

予算及び決算の内容は、以下に示すとおりである。

なお、下記の表の金額には、消費税及び地方消費税が含まれている。

収益的収入

(単位：円・％)

科目 \ 区分	予算額(A)	決算額(B)	予算額と決算額 の比較増減	収入率 (B)/(A)
水道事業収益	431,800,000	423,963,658	△ 7,836,342	98.2
営業収益	430,084,000	419,476,956	△ 10,607,044	97.5
営業外収益	1,703,000	4,486,702	2,783,702	263.5
特別利益	13,000	0	△ 13,000	0.0

収益的支出

(単位：円・％)

科目 \ 区分	予算額(A)	決算額(B)	不用額	執行率 (B)/(A)
水道事業費用	427,790,000	416,200,385	11,589,615	97.3
営業費用	387,946,000	379,379,576	8,566,424	97.8
営業外費用	35,283,000	34,773,865	509,135	98.6
特別損失	2,251,000	2,046,944	204,056	90.9
予備費	2,310,000	0	2,310,000	0.0

事業収益は 423,963,658 円（うち仮受消費税及び地方消費税 19,630,600 円）で、予算額と比べ 7,836,342 円（1.8％）の減であり、事業費用は 416,200,385 円（うち仮払消費税及び地方消費税 17,160,141 円）で、予算額に対し 11,589,615 円（2.7％）の不用額が生じている

資本的収入

(単位：円・％)

科目 \ 区分	予算額(A)	決算額(B)	予算額と決算額 の比較増減	収入率 (B)/(A)
資本的収入	40,901,000	37,735,000	△ 3,166,000	92.3
企業債	30,000,000	25,000,000	△ 5,000,000	83.3
負担金	3,455,000	5,439,000	1,984,000	157.4
補償金	7,446,000	7,296,000	△ 150,000	98.0

資本的支出

(単位：円・％)

科目 \ 区分	予算額(A)	決算額(B)	翌年度繰越額	不用額	執行率 (B)/(A)
資本的支出	137,542,000	112,926,320	0	24,615,680	82.1
建設改良費	77,763,000	53,149,859	0	24,613,141	68.3
企業債償還金	59,779,000	59,776,461	0	2,539	100.0

資本的収入は 37,735,000 円で、予算額と比べ 3,166,000 円 (7.7%) の減であり、資本的支出は 112,926,320 円で、予算額に対し 24,615,680 円 (17.9%) の不用額が生じている。

(3) 経営成績について

経営損益の状況は、以下に示すとおりである。

比較損益計算書

(単位：円・%)

科目 \ 区分	平成 25 年度 決 算 額	平成 24 年度 決 算 額	比較増減	前年度に 対する比率
水 道 事 業 収 益	404,333,058	400,754,366	3,578,692	100.9
営 業 収 益	399,969,502	398,886,849	1,082,653	100.3
営 業 外 収 益	4,363,556	1,867,517	2,496,039	233.7
水 道 事 業 費 用	399,040,244	385,194,656	13,845,588	103.6
営 業 費 用	370,491,658	354,703,438	15,788,220	104.5
営 業 外 費 用	26,502,865	27,557,203	△ 1,054,338	96.2
特 別 損 失	2,045,721	2,934,015	△ 888,294	69.7
当 年 度 純 利 益	5,292,814	15,559,710	△ 10,266,896	34.0

経営成績は、決算書の損益計算書でみるとおり、事業収益は 404,333,058 円で、前年度比 3,578,692 円 (0.9%) の収入の増であり、事業費用は 399,040,244 円で、前年度比 13,845,588 円 (3.6%) の支出の増となった。

その結果、本年度の純利益は 5,292,814 円となった。

昨年度の繰越欠損金は 38,729,282 円あり、本年度純利益を差引きすると、当年度未処理欠損金は 33,436,468 円となった。

(1) 収益

営業収益は 399,969,502 円で、前年度比 1,082,653 円の増であり、これは、給水収益に 4,688,819 円の減があった一方、受託工事収益の 4,333,000 円の増などによるものである。また、営業外収益は 4,363,556 円で、前年度比 2,496,039 円の増であり、これは主に、雑収益 2,311,336 円の増などによるものである。

(2) 費用

営業費用は 370,491,658 円で、前年度比 15,788,220 円の増であり、これは主に、配水及び給水費に 5,882,823 円、総係費に 6,323,788 円の増などである。また、営業外費用は 26,502,865 円で、前年度比 1,054,338 円の減であり、これは、支払利息及び企業債取扱諸費の減によるものである。

(4) 財政状況について

財政の状況は、以下に示すとおりである。

比較貸借対照表

(単位：円・%)

科目 \ 区分	平成 25 年度 決 算 額	平成 24 年度 決 算 額	比較増減	前年度に 対する比率
借 方 (資 産)	4,797,767,501	4,820,381,329	△ 22,613,828	99.5
固 定 資 産	3,746,018,119	3,808,828,157	△ 62,810,038	98.4
流 動 資 産	1,051,749,382	1,011,553,172	40,196,210	104.0
貸 方 (負 債 ・ 資 本)	4,797,767,501	4,820,381,329	△ 22,613,828	99.5
固 定 負 債	148,407,331	148,302,791	104,540	100.1
流 動 負 債	39,519,342	48,486,933	△ 8,967,591	81.5
資 本 金	2,042,071,133	2,076,847,594	△ 34,776,461	98.3
剰 余 金	2,567,769,695	2,546,744,011	21,025,684	100.8

財政状況は、決算書の貸借対照表でみるとおり、資産合計及び負債・資本合計は共に 4,797,767,501 円であり、前年度比 22,613,828 円 (0.5%) の減となった。

(1) 資産

固定資産は 3,746,018,119 円で前年度比 62,810,038 円の減であり、これは主に、構築物 55,926,710 円の減などである。また、流動資産は 1,051,749,382 円で、前年度比 40,196,210 円の増であり、これは主に、現金預金の 41,414,134 円の増などによるものである。

(2) 負債

固定負債は 148,407,331 円で前年度比 104,540 円の増であり、これは、修繕引当金の増である。また、流動負債は 39,519,342 円で、前年度比 8,967,591 円の減であり、これは主に、未払金の 9,101,063 円の減などによるものである。

(3) 資本

資本金は 2,042,071,133 円で前年度比 34,776,461 円の減であり、これは、企業債の減である。また、剰余金は 2,567,769,695 円で、前年度比 21,025,684 円の増であり、これは、資本剰余金のうち主に加入者負担金に 5,180,000 円、補償金に 7,296,000 円の増があることと、今年度 5,292,814 円の純利益が生じたことにより、繰越欠損金が減少したことによるものである。

(5) 審査所見

事業損益については、純利益 5,292,814 円を得ているが、前年度繰越欠損金があるため、本年度未処理欠損金が残し、その額は 33,436,468 円となっている。欠損金の早期解消に努めてください。

水道料金の未収金については、水道利用者の負担の公平性や健全な事業経営を図る上で、収納の成果が上がるよう、一層その取り組みに努めてください。

経営を取り巻く状況は、給水人口の減少に伴う収益の縮減、老朽管の布設替など維持管理費用の確保、さらには施設設備の耐震性の向上など災害に備えた事業の実施など厳しい状況にある。

このような状況にあつて、収益の確保、費用の抑制、計画的な事業執行などに配意し、安定した水道事業の経営に努力してください。

勝沼ぶどうの丘事業会計

(1) 業務の実績について

業務実績は、以下に示すとおりである。

業務実績比較

(単位：人[延])

部 門		平成 25 年度	平成 24 年度	比較増減
施設 利用	宿 泊	12,866	13,570	△ 704
	休 憩 ・ 会 議	2,846	3,811	△ 965
	売 店	122,719	135,740	△ 13,021
	温 泉	120,091	127,940	△ 7,849
	食 事	152,738	162,239	△ 9,501
	レ ス ト ラ ン	45,296	47,484	△ 2,188
	宴 会	3,420	2,987	433
	バ ー ベ キ ュ ー	27,716	30,397	△ 2,681
	温 泉 ラ ウ ン ジ	43,610	49,227	△ 5,617
	美 術 館 カ フ エ	2,999	5,560	△ 2,561
	駅 ワ イ ン シ ョ ッ プ	10,766	11,339	△ 573
	釈 迦 堂 シ ョ ッ プ	—	1,358	△ 1,358
	思 蓮	18,931	13,887	5,044
利 用 者 合 計		411,260	443,300	△ 32,040

年間の利用状況において、部門ごとの利用者数は合計 411,260 人で前年度と比較して 32,040 人減となった。

(2) 予算の執行状況について

予算及び決算の内容は、以下に示すとおりである。

なお、下記の表の金額には消費税、地方消費税及び入湯税が含まれている。

収益的収入

(単位：円・％)

科目 \ 区分	予算額 (A)	決算額 (B)	予算額と決算額の比較増減	収入率 (B) / (A)
事業収益	975,460,000	866,715,260	△ 108,744,740	88.9
営業収益	975,150,000	866,479,227	△ 108,670,773	88.9
営業外収益	310,000	236,033	△ 73,967	76.1

収益的支出

(単位：円・％)

科目 \ 区分	予算額 (A)	決算額 (B)	不用額	執行率 (B) / (A)
事業費用	955,287,000	855,850,043	99,436,957	89.6
営業費用	932,062,000	836,088,043	95,973,957	89.7
営業外費用	23,125,000	19,762,000	3,363,000	85.5
予備費	100,000	0	100,000	0.0

事業収益は 866,715,260 円(うち仮受消費税 40,812,040 円及び入湯税 9,400,200 円)で、予算額と比べ 108,744,740 円(11.1%)の減であり、事業費用は 855,850,043 円(うち仮払消費税 30,450,407 円、地方消費税 10,361,800 円)で、予算額に対し 99,436,957 円(10.4%)の不用額が生じている。

資本的収入

(単位：円・％)

科目 \ 区分	予算額(A)	決算額(B)	予算額と決算額 の比較増減	収入率 (B)/(A)
資 本 的 収 入	0	0	0	—

資本的支出

(単位：円・％)

科目 \ 区分	予算額(A)	決算額(B)	不用額	執行率 (B)/(A)
資 本 的 支 出	24,000,000	20,790,000	3,210,000	86.6

資本的収入は0円で、資本的支出は20,790,000円で、予算額に対し3,210,000円(13.4%)の不用額が生じている。

(3) 経営成績について

経営損益の状況は、以下に示すとおりである。

比較損益計算書

(単位：円・%)

科目 \ 区分	平成 25 年度 決 算 額	平成 24 年度 決 算 額	比較増減	前年度に 対する比率
事業収益	816,503,020	858,467,148	△ 41,964,128	95.1
営業収益	816,266,987	857,782,605	△ 41,515,618	95.2
営業外収益	236,033	684,543	△ 448,510	34.5
事業費用	805,637,803	841,947,209	△ 36,309,406	95.7
営業費用	805,637,636	841,947,209	△ 36,309,573	95.7
営業外費用	167	0	167	0.0
特別損失	0	0	0	-
当年度純利益	10,865,217	16,519,939	△ 5,654,722	65.8

決算書の損益計算書でみるとおり、事業収益は 816,503,020 円で前年度比 41,964,128 円 (4.9%) の減であり、事業費用も 805,637,803 円で前年度比 36,309,406 円 (4.3%) の減となった。

その結果、本年度の純利益は 10,865,217 円となった。

(1) 収益

営業収益は 816,266,987 円で、前年度比 41,515,618 円の減であり、これは主に、売店収益に 30,240,572 円の減などがあった。また、営業外収益は 236,033 円で、前年度比 448,510 円の減であり、これは主に、その他営業外収益の 629,105 円の減などによるものである。

(2) 費用

営業費用は 805,637,636 円で、前年度比 36,309,573 円の減であり、これは主に、販売費の 24,019,177 円の減などによるものである。

(4) 財政状況について

財政の状況は、以下に示すとおりである。

比較貸借対照表

(単位：円・%)

科目 \ 区分	平成 25 年度 決 算 額	平成 24 年度 決 算 額	比較増減	前年度に 対する比率
借 方 (資 産)	802,209,539	775,598,139	26,611,400	103.4
固定資産	508,633,207	499,155,709	9,477,498	101.9
流動資産	293,576,332	276,442,430	17,133,902	106.2
貸 方 (負 債 ・ 資 本)	802,209,539	775,598,139	26,611,400	103.4
流動負債	53,979,688	38,233,505	15,746,183	141.2
資 本 金	602,269,039	602,269,039	0	100.0
剰 余 金	145,960,812	135,095,595	10,865,217	108.0

財政状況については、決算書の貸借対照表でみるとおり、資産合計及び負債・資本合計は共に 802,209,539 円で、前年度比 26,611,400 円(3.4%)の増となっている。

(1) 資産

固定資産は 508,633,207 円で前年度比 9,477,498 円の増であり、これは、構築物に 2,669,338 円の減があった一方、建物の 14,257,651 円の増などによるものである。また、流動資産は 293,576,332 円で、前年度比 17,133,902 円の増であり、これは主に、現金預金の 7,713,008 円及び貯蔵品の 9,131,350 円の増などによるものである。

(2) 負債

流動負債は 53,979,688 円で前年度比 15,746,183 円の増であり、これは主に、未払金の 13,548,371 円の増などである。

(3) 資本

剰余金は 145,960,812 円で、前年度比 10,865,217 円の増であり、これは、利益剰余金のうち主に当年度末処分利益剰余金 9,165,217 円の増によるものである。

(5) 審査所見

財務会計処理についてです。

物品購入や業務委託等の契約方法、またその検収行為、さらには請求書の記載事項の確認などが的確に行なわれていないものがあります。

そこで、適正な事務、会計処理を図るため、その業務に関わる的確な事務及び会計処理方法の周知徹底を行なうなどして、改善に取り組んでください。

純収益についてです。

本年度純収益は 10,865,217 円で、前年度比 5,654,722 円と大きく落ち込んでいます。

事業の特性上、経営は景気や天候の影響を受け易く、昨年度は猛暑や大雪のため、利用者数、売上高とも大きく落ち込むこととなりました。しかし、利用者の増加につながる事業の充実や、経費削減を図るための効率的な予算執行などにも配意し、収益の向上に努めてください。

勝沼ぶどうの丘事業は、観光やワイン産業の振興拠点としての役割りを担っていますので、適切、的確な事務事業の執行、収益向上などに一層の努力を重ねられることを望みます。

勝沼病院事業会計

(1) 業務の実績について

業務実績は、以下に示すとおりである。

業務実績比較

区 分	単位	平成 25 年度		平成 24 年度		比較増減	
		入院患者	外来患者	入院患者	外来患者	入院患者	外来患者
年 間 延 人 数	人	13,003	18,170	12,329	19,156	674	△ 986
1 日 平 均	人	35.6	61.8	33.8	65.2	1.8	△ 3.4
病 床 利 用 率	%	69.9	—	66.2	—	3.7	—
診 察 日 数	日	—	294	—	294	—	0

入院患者は延べ 13,003 人で前年度と比較して 674 人（一日平均 1.8 人）増、外来患者は延べ 18,170 人で前年度比 986 人（一日平均 3.4 人）の減、病床利用率は 69.9%で前年度比 3.7%増となっている。

(2) 予算の執行状況について

予算及び決算の内容は、以下に示すとおりである。

なお、下記の表の金額には、消費税及び地方消費税が含まれている。

収益的収入

(単位：円・%)

科目 \ 区分	予算額(A)	決算額(B)	予算額と決算額 の比較増減	収入率 (B)/(A)
病 院 事 業 収 益	23,316,000	22,574,513	△ 741,487	96.8
医 業 外 収 益	23,316,000	22,574,513	△ 741,487	96.8

収益的支出

(単位：円・%)

科目 \ 区分	予算額(A)	決算額(B)	不用額	執行率 (B)/(A)
病 院 事 業 費 用	23,316,000	22,566,692	749,308	96.8
医 業 費 用	19,988,000	19,474,099	513,901	97.4
医 業 外 費 用	3,327,000	3,092,593	234,407	93.0
予 備 費	1,000	0	1,000	0.0

事業収益は22,574,513円で、予算額と比べ741,487円(3.2%)の減であり、事業費用は22,566,692円(うち仮払消費税94,838円)で、予算額に対し749,308円(3.2%)の不用額が生じている。

資本的収入

(単位：円・％)

科目 \ 区分	予算額(A)	決算額(B)	予算額と決算額の比較増減	収入率 (B)/(A)
資本的収入	15,600,000	15,586,448	△ 13,552	99.9
一般会計負担金	15,570,000	15,570,000	0	100.0
企業債	0	0	0	-
基金積立金利息	30,000	16,448	△ 13,552	54.8

資本的支出

(単位：円・％)

科目 \ 区分	予算額(A)	決算額(B)	不用額	執行率 (B)/(A)
資本的支出	34,443,000	32,852,741	1,590,259	95.4
建設改良費	18,156,000	16,579,500	1,576,500	91.3
企業債償還金	16,257,000	16,256,793	207	100.0
基金積立金	30,000	16,448	13,552	54.8

資本的収入は 15,586,448 円で、予算額と比べ 13,552 円 (0.1%) の減であり、資本的支出は 32,852,741 円で、予算額に対し 1,590,259 円 (4.6%) の不用額が生じている。

(3) 経営成績について

経営損益の状況は、以下に示すとおりである。

比較損益計算書

(単位：円・%)

科目 \ 区分	平成 25 年度 決 算 額	平成 24 年度 決 算 額	比較増減	前年度に 対する比率
病院事業収益	22,574,513	21,600,343	974,170	104.5
医 業 収 益	0	0	0	-
医業外収益	22,574,513	21,600,343	974,170	104.5
病院事業費用	22,471,854	21,533,232	938,622	104.4
医 業 費 用	19,379,261	18,121,688	1,257,573	106.9
医業外費用	3,092,593	3,411,544	△ 318,951	90.7
当年度純利益	102,659	67,111	35,548	153.0

当病院事業会計は、財産管理業務を行なっている。

なお、医療業務は指定管理者制度により、財団法人山梨厚生会が運営している。

(1) 収益

医業外収益は 22,574,513 円で、前年度比 974,170 円の増であり、これは主に、他会計負担金 973,000 円の増などによるものである。

(2) 費用

医業費用は 19,379,261 円で、前年度比 1,257,573 円の増であり、これは主に、減価償却費に 474,703 円及び、経費の 832,870 円の増などである。また、医業外費用は 3,092,593 円で、前年度比 318,951 円の減であり、これは、支払利息に 110,006 円の増があった一方で、雑損失の 428,957 円の減によるものである。

(4) 財政状況について

財政の状況は、以下に示すとおりである。

比較貸借対照表

(単位：円・%)

科目 \ 区分	平成 25 年度 決 算 額	平成 24 年度 決 算 額	比較増減	前年度に 対する比率
借 方 (資 産)	576,120,322	576,688,008	△ 567,686	99.9
固定資産	542,859,762	543,935,800	△ 1,076,038	99.8
流動資産	33,260,560	32,752,208	508,352	101.6
貸 方 (負 債 ・ 資 本)	576,120,322	576,688,008	△ 567,686	99.9
流動負債	0	0	0	-
資 本 金	466,011,247	466,698,040	△ 686,793	99.9
剰 余 金	110,109,075	109,989,968	119,107	100.1

資産合計及び負債・資本合計は共に 576,120,322 円となり、前年度比 567,686 円 (0.1%) の減となった。

(1) 資産

固定資産は 542,859,762 円で前年度比 1,076,038 円の減であり、これは、主に建物及びその付属設備に 16,190,000 円の増があった一方、建物等の減価償却後の資産価格額の減などによるものである。また、流動資産は 33,260,560 円で、前年度比 508,352 円の増であり、これは、現金及び預金の増によるものである。

(2) 資本

資本金は 466,011,247 円で前年度比 686,793 円の減であり、これは、一般会計繰入金に 15,570,000 円の増があった一方、償還に伴い企業債残高が 16,256,793 円減となったことによるものである。また、剰余金は 110,109,075 円で、前年度比 119,107 円の増であり、これは、利益剰余金の 102,659 円の増などによるものである。

(5) 審査所見

当病院事業会計は、土地建物などの財産管理を行ない、医療業務は指定管理者制度により、財団法人山梨厚生会が運営している。

当病院は、市民の健康管理、疾病の早期発見や早期治療などの役割りも果たしており、特に勝沼・大和地域の保健医療の拠点ともなっている。

今後も、指定管理者との連携の下、市民の要望にも配意され、的確な運営、経営に取り組んでください。